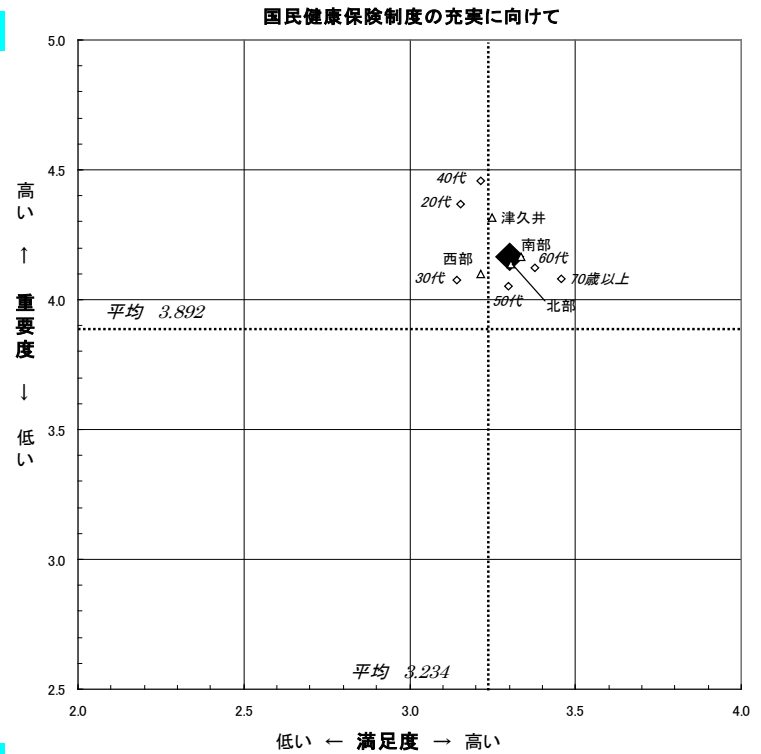


5 市民満足度調査結果(平成21年度実施分)

- この施策の満足度は3.301で全119施策の中で32番目。
- 重要度は4.166で26番目である。
- 改善要望度は0.146で36番目である。



6 1次評価(2つの視点から評価を行う)

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	H20評価点	前回(H20)評価結果との比較分析 または優先順位の最も高い指標以外で評価した理由
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	4(2)1	4(2)1	
効率性	最小の経費で最大限の効果を得られるよう、効率的に事業を実施している	4 2(1)	/	
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	(4)2 1	(4)2 1	
合計				評価結果に基づく区分(4項目の合計点数による) A(9点以上) B(8点・7点・6点・5点) C(4点以下)
				1次評価 B

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

7 課題と解決策(現状または、評価結果から)

課題	平成20年4月から後期高齢者医療制度が創設され、収納率が約98%と他の世代と比べて高かった後期高齢者が脱退したことや、急激な経済危機、雇用環境の悪化などの影響により収納率が低下する状況になっている。こうした中、収納率の減少担税力があるにも係らず滞納を続ける納税義務者に対して、財産の差押処分の強化を図り税負担の公平性を確保する。
解決策	差押処分可能財産を発見するための調査の強化を図り、必要に応じて積極的に差押処分を執行する。

8 2次評価及び意見(1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入)

	2次評価
	B

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

9 3次評価及び意見(評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入)

	3次評価
	B

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向